



やらまいか

例会日/毎週火曜日 12:30 例会場/豊川商工会議所

会長/滝下 勲 幹事/伊藤正幸 会報委員会/河本圭史・大場 篤

事務局/豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889

HP/<http://toyokawahoi.tank.jp>

クラブテーマ: 和の心と・地元へ奉仕を

本年度第15回 通算1361回 平成26年10月21日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	10/7修正出席率
		59名	34名	64.2%	92.4%

ゲスト: アルピニスト 稲吉佑紀さん ビジター: メーキャップ受付16名

★会長あいさつ



滝下 勲会長

こんにちは。先週の火曜日の夜、新入会員の勉強会がありました。今年入会された新入会員全員と波多野パスト会長、水野パスト

会長、夏目パスト会長、山城パスト会長と推薦者方々にも出席して頂きました。1時間の勉強会、そして親睦を深めるために懇親会が行われました。大変有意義な時間だったと思っています。夏目パスト会長と波多野パスト会長からロータリーについて詳しく教えて頂きました。新入会員の皆さんには、若干ロータリーがどのようなものか理解頂けたのではないかと思います。

今日、笠原会員が出席されています。もりあげ隊が、福島県郡山で開催されたB1グランプリで大変活躍されたそうで、新聞等で色々と見させて頂きました。豊川のいなり寿司と手筒花火の打ち上げの様子、そしてJAのバラもPRされたということで、豊川市をアピールして頂きましてありがとうございます。お疲れ様でした。皆さん、笠原さんに拍手をお願いします。(拍手)

今日は外部講師の卓話で、アルピニストの稲吉さんにお越し頂いております。私、エベレストに行ったことがあります。とは言っても飛行機で行きました。結婚25周年の記念旅行でネパールに行った時に、カトマンズから遊覧飛行でエベレストの近くまで行きました。

世界一の山を一度見てみたいと思って行きました。その山に登られた話をして頂けるということで楽しみにしています。最近、山岳事故が多いようですので、気をつけて挑戦して頂きたいと思います。

★幹事報告

伊藤正幸幹事

例会臨時変更のお知らせ
台湾台中松竹RCの会報の回覧
豊川文化協会から新春寄席の案内の回覧

★外部講師の卓話

講師の紹介

高桑 耐会員



講師の紹介をします。アルピニストの稲吉佑紀さんです。佑紀さんとお会いしたのは、約3年前程前です。ある

スナックで初めて会いました。色々と話をしていると、「今度、マッケンリーに登る」と聞いて半信半疑でした。登ったという証拠も何も無いから、どこまで信用したら良いかと思っていたら、「今度はエベレストに登る」と聞きました。その後、エベレストに登頂したと聞いたけど、この地域の新聞には何も載らないから、東愛知新聞の藤村社長に佑紀さんの事を話しました。藤村さんが色々と取材されて、登頂は間違いないと聞きまして、本当の事だとわかりました。

エベレストに登ろうと思うと、1回の挑戦には日本円で600万円ぐらいの費用が掛かります。スポンサーがいないので、昼間働いて、夜も働いて費用を貯めたそうです。エベレスト登頂するためには、準備を含めて2ヶ月も3ヶ月も掛ります。会社を退社して挑戦をされました。

2013年に登頂した時に、あまり感動されなかったそうです。今度は無酸素で挑戦をしてみたいそうです。その前に、世界第2位のパキスタンのK2に挑戦をされるそうです。一人で頑張っていますので、この挑戦に皆さん応援をお願いします。

卓話「エベレスト挑戦」 稲吉佑紀さん



初めまして、本日はよろしくをお願いします。

幼いころからスキーやキャンプをするような家庭で育ちました。中学生になると、そのフィールドがキャンプでは無く、山に変わっていました。

念願のエベレストに去年2013年に登頂することが出来ました。1回の登頂に500万円の費用と2ヶ月の時間を費やします。そのために仕事をやめざるを得ませんでした。そのお蔭で、自分の中に宝物を持った感覚を持つことが出来ました。今回は、私の宝物の写真を見ながらお話をします。

エベレストは、ネパールとチベットにまたがっています。エベレストは、人の名前から付けられています。地元のネパールの人たちは「サガルマータ」と言って意味は「世界の頂上」です。チベットの人たちは「チョモランマ」と言って「大地の母神」という意味です。高さは8,848mです。飛行機が安定して飛べる高さが8,000mから10,500mとされています。飛行機が飛んでいる高さとはほぼ同じです。

8,000mの高さを飛んでいる飛行機のトビラが突然開いたらどうなると思いますか？たぶん1分ほどで失神をして、そのままにしておく死亡します。エベレストでも同じことが言われています。登頂に2ヶ月も掛るのは、海拔0mに住む私たちが、いきなり8,000mの

場所に放り出されると失神をしてしまうのです。酸素が地上の3分の1、平均気温がマイナス35度、天気によって風が吹くので体感温度はもっと低く感じることもあります。

酸素が地上の3分の1ということは、血中酸素も低くなります。私たちの血中酸素は98%~100%ですが、8,000mの高さだと、血中酸素は60%になります。通常85%を切ると病院のICUに入る数値です。60%でも大丈夫なのは、高所順応と言って、酸素分圧の低下によって生ずる酸素不足に対して、赤血球を増加させることによって体内への酸素吸収量を補おうとする自己防衛本能が働くからです。一度6,000mに上がって苦しくて5,000mまで下がります。そして、また6,000mに上がると苦しくなくなる。そのように上がったり、下がったりを繰り返して体を高所に慣らしていきます。

今は世界最高峰の山と言われていますが、何千年もの昔は海の底でした。4000万年前インド亜大陸がユーラシア大陸と衝突し、海底の石灰岩の地層が隆起して巨大な山脈が形成されました。その証拠に「イエローバンド」と呼ばれる地層があります。岩が黒い中の一角だけ黄色の岩になっています。そこが海底の底だったという証拠です。

1953年ニュージーランド出身の登山家エドモンド・ヒラリーとチベット出身のシェルパテンジン・ノルゲイによって初登頂がされました。

登頂した時の写真と共に説明をします。

最初にルクラという街に行き、標高が2,000mぐらいで、ここから約10日間かけてカラパ



タールまでトレッキングして行きます。現地ではヤクと言う動物が荷物を運んでくれます。エベレストの街道を歩くツアーもあります。カラパタールまでは多くの方が行きますが、ここから先は本当に登山をする人が行きます。

私が参加したのはセブンサミット・トレックスという登山隊です。エベレストのベースキャンプの中で一番大きな登山隊です。一人一人にテントが1つずつ与えられます。そしてダイニングテント、キッチンテント、トイ

レ Tent、シャワー Tentなどが設置されています。娯楽として、夜になるとディスコが企画され、ダウンスーツを着てビール飲んで、音楽を聴いて踊っていました。キャンプ内には、バーもあり、ムービーシアターもあります。ベースキャンプで1ヶ月ぐらい過ごします。食べ物はヤクが運びますが、定期的にヘリで荷物が届いていました。エベレストが観光登山になっていて、私はそれを見て、とてもショックを受けました。

キャンプ1の標高が6,000mです。ここに入ると心拍数が寝ている時でも100を打ちます。体力も消耗して行きます。頭痛が始まり、体がむくみ始めて、次第に動けなくなります。順化させるために1日水を4ℓ飲まなければいけないと言われていたのですが、トイレに行くのが辛いのです。寝ているだけでも辛く、起き上がってトイレなんて苦痛でしかたなく、それを考えると水も飲みたくありませんでした。水を飲まない、順化が出来なくて、ずっと苦しんでいました。食欲もなく、気温も低く、鼻の粘膜が炎症を起こして、鼻をかむたびに鼻血が出ていました。

キャンプ2の標高は6,400mです。ここまで来るとエベレストの全貌が見えてきます。エベレストが見えた時は、すごく嬉しかった



です。山頂に立った時よりも、この時の方が感動しました。ここまで来ると寝ている最中に何度も目が覚めます。寝ている時の呼吸は、地上にいる時と同じぐらい浅い呼吸になるので、血中酸素が足りなくて、体が酸素を吸うために目が覚めます。目が覚めると同時に大きく息を吸って酸素を取り入れます。それを何度も繰り返します。朝まで目が覚めなくなると、体が順化できているという事になります。体と会話をしながら登って行きます。

キャンプ3に向う時の斜面は40度から50度ぐらいあります。ヒックスロープにアッセンダーという機械を付けて、ハーネスを付け

て、落石が多いのでヘルメットをかぶり、ロープを引っ張りながら登って行きます。

キャンプ3まで行くと、順応が完了したということでベースキャンプに戻ります。戻って2週間ほどベースキャンプで過ごします。洗濯をしたり、シャワーをしたり、本を読んだり、別の登山隊に遊びに行ったりしました。その後4,000mまで下って、体を休養させて、体を回復させました。そして、またベースキャンプに戻り、キャンプ3まで登り登頂を目指します。

上に行けば行くほど雪がありません。それは強風で雪が飛ばされるからです。キャンプ3から登る時に酸素を付けました。そして私は夜の7時からアタックを開始しました。登る人も下る人も1本の道なので、とても渋滞



します。渋滞して酸素が切れて亡くなるケースが、ここ最近多くなっています。暗い中を登頂していたので、自分がどの位置を登っているのか分かりませんでした。明るくなって見えた景色は凄く素晴らしく、とても感動しました。山頂にはタルチョというカラフルな旗が掛けられていました。1枚1枚にお経が書かれており、安全を祈願して祀られています。

今回エベレストに登るに当たり、色々な本を読みました。山頂に着くと感動したと書かれていました。「タルチョが見えた瞬間に膝から崩れ落ちた」と表現されていたので、私はそれを味わいたか



ったです。今まで感じたことのない思いを感じるのだらうと思っていたのに、何も感じませんでした。酸素を使ったことによって、8,000mの山が6,000mに山になってしまいました。酸素を使えば、健康な方なら誰でも登れる山です。逆にエベレストは金で登れる観光登山だと言われ、すごく悲しかったです。自分が行ってみて、その理由が分かりました。自分は顧客で、荷揚げもしなくて歩くだけで良かったのです。自分では挑戦のつもりで登りましたが、時間が経つにつれて、無酸素こそが本当の挑戦であり、山と本当に向き合えるのではないかと思うようになりました。

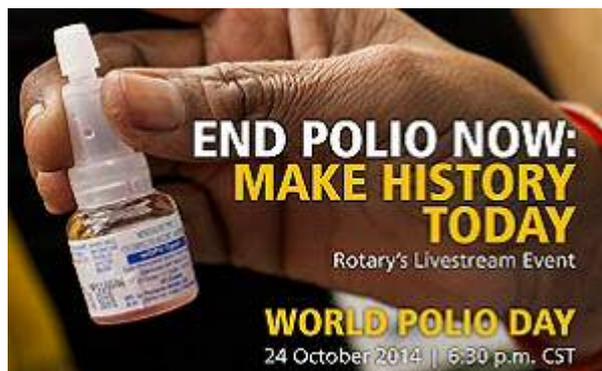
今度は、K2 という山を目指すことにしました。K2は、世界第2位の8,611mの山です。エベレストと違って登山技術が必要になってきます。登頂者は284名しかいません。エベレストの死亡率は5%、K2は死亡率23%です。私の技術を全て使えたとしても登れるかどうかは分かりません。気象状況も悪く天気が長続きしません。難しいからこそ、どこまで登れるか試したいと思っています。ご清聴ありがとうございました。

★ニコニコボックス

八木敏司さん	結婚記念日の花の御礼
波多野四郎会員	無事に退院しました
笠原盛泰会員	B1の御礼
鈴木 忍会員	誕生日を祝って頂き
石黒貴也会員	〃
廣田 篤会員	〃
竹生和史会員	〃
藤原規彰会員	〃
鈴木 博会員	〃
中村嘉輝会員	結婚記念日を祝って頂き
浅野 晋会員	事業所創業を祝って頂き
土井昌司会員	入会記念日を祝って頂き
笠原盛泰会員	〃
杉浦節子会員	色々と祝って頂き
滝下 勲会員	〃
太田 稔会員	〃

★RIニュース

10月20日は「世界ポリオデー」



「世界ポリオデー」の10月24日、「End Polio Now: 歴史に1ページを刻もう」イベントの動画ライブ配信が行われます。イベントはシカゴ時間の午後6時半(日本時間の25日午前8時半)から開始され、endpolio.orgから動画をご覧ください。クラブや地区で既に計画中の活動に加えて、ライブ中継を見る閲覧会を開くこともぜひご検討ください。イベント終了後には録画もご覧ください。

世界ポリオデーを挟んだ一週間は、クラブ例会でポリオ撲滅活動を取り上げることをお勧めします。また地域でポリオ撲滅の募金活動を行えば、寄付や支援を募るとともに、より多くの人びとに活動を紹介することができます。政府関係者には、書簡を送り、ポリオのない世界を実現するための支援を呼びかけましょう。



会報担当：河本圭史会員・大場 篤会員